

## 10 周産期医療に関する目標

目標項目	現状値	目標値 (達成時期)
①周産期死亡率 (出産千対)	2.5 (R4年)	2.5 (R11年度)
②新生児死亡率 (出生千対)	0.7 (R4年)	0.7以下 (R11年度)

### [目標設定の考え方]

#### 【周産期死亡率（出産千対）】

令和4年の本県の周産期死亡率は2.5で、全国の3.3より0.8ポイント低い状況ですが、平成30年以降、令和3年は全国値を上回りましたが、平成30年～令和2年は全国値より低い水準であり、引き続き総合的な周産期医療対策の推進を図ることから、本県の過去の最低値である令和4年の2.5を目指し目標値を設定します。

#### 【新生児死亡率（出生千対）】

令和4年の本県の新生児死亡率は0.7で、全国の0.8より0.1ポイント低い状況ですが、平成30年以降、全国平均を上回った年もあり、年により増減が生じています。出生数が年々減少し、若干の死亡数の増減により変動幅が大きくなることを考慮して、過去5年間の平均値である0.7以下を目指し目標値を設定します。

## 11 小児医療・小児救急医療に関する目標

目標項目	現状値	目標値 (達成時期)
①乳児死亡率 (出生千対)	2.5 (R4年)	1.8以下 (R11年度)
②小児死亡率 (15歳未満人口10万対)	22.6 (R4年)	19.2以下 (R11年度)

### [目標設定の考え方]

#### 【乳児死亡率（出生千対）】

令和4年の本県の乳児死亡率は2.5で、全国の1.8より0.7ポイント高い状況です。平成30年以降、令和3年を除き全国平均を上回って推移している本県の状況を全国並に引き下げることを目指し、国の過去5年間の平均値である1.8以下を目標値に設定します。

#### 【小児死亡率（15歳未満人口10万対）】

令和4年の本県の小児死亡率は22.6で、全国の17.8より4.8ポイント高い状況です。平成30年以降全国平均を上回って推移している本県の状況を全国並に引き下げることを目指し、国の過去5年間の平均値である19.2以下を目標値に設定します。

《資料》

周産期医療

指標分類	指標名	重要指標：○ 参考指標：△ その他：△	鹿児島	南薩	川薩	出水	始良・伊佐	曾於	肝属	熊毛	奄美	県計	全国計
			医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏		
P	出生数	△	4,850	547	712	469	1,681	388	994	192	707	10,540	770,759
	(出生率)		7.3	4.6	6.5	5.9	7.2	5.4	6.9	5.1	6.9	6.7	6.3
P	合計特殊出生率	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.54	1.26
P	低出生体重児出生率	△	10.8	9.1	7.9	11.1	8.7	10.3	10.7	13.0	10.3	10.2	9.4
P	分娩数(助産所を除く)	△	6,204	353	703	510	1,563	0	1,152	149	544	11,178	-
P	産後訪問指導実施数	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27,820	1,944,179
S	産科・産婦人科医師数	○	103	8	9	2	13	1	10	2	11	159	11,678
	出生千人対		21.2	14.6	12.6	4.3	7.7	2.6	10.1	10.4	15.6	15.1	15.2
S	分娩を取り扱う医師数(常勤換算数)	○	91.2	5.0	10.0	2.0	10.4	0.0	8.2	2.0	9.9	138.7	8,932.4
	出生千人対		18.8	9.1	14.0	4.3	6.2	0.0	8.2	10.4	14.0	13.2	11.6
S	<R5子ども家庭課調査>分娩を取り扱う医師数(常勤換算数)	△	86.5	6.1	8.1	2.0	13.2	0.0	8.5	4.1	8.1	136.6	-
	出生千人対		17.8	11.2	11.4	4.3	7.9	0.0	8.6	21.4	11.5	13.0	-
P	産科医1人当たりの年間分娩取扱件数		71.7	57.9	86.8	255.0	118.4	0.0	135.5	36.3	67.2	81.8	-
S	新生児専門医数(日本周産期・新生児医学会専門医)	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	1,046
S	就業助産師数	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	618	37,940
S	アドバンス助産師数	○	82	3	9	2	16	0	7	0	14	133	9,032
S	新生児集中ケア認定看護師数	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	415
S	分娩を取り扱う医療機関数	△	16	2	2	2	5	-	4	2	4	37	2,070
	(病院)		8	2	1	-	1	-	1	1	4	18	963
	(診療所)		8	-	1	2	4	-	3	1	-	19	1,107
S	分娩を取り扱う助産所数	△	3	-	-	-	-	-	1	-	-	4	341
S	ハイリスク妊産婦連携指導料1届出医療機関数	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	643
	ハイリスク妊産婦連携指導料2届出医療機関数		-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	381
S	院内助産を行っている周産期母子医療センター数	○	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	134
S	助産師外来を行っている周産期母子医療センター数	○	3	0	1	0	0	0	0	0	0	4	289
S	NICUを有する病院数(周産期母子医療センターを計上)	○	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	352
S	NICU病床数	○	54	-	-	-	-	-	-	-	-	54	3,394
	出生1万人当たりのNICU病床数		111.3	-	-	-	-	-	-	-	-	51.2	44.0
S	NICU専任医師数	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39.0	3,873.1
S	周産期母子医療センター新生児部門従事医師数	△	20	-	4	-	-	-	4	-	4	32	-
	出生千人対		4.1	-	5.6	-	-	-	4.0	-	5.7	3.0	-
S	GCUを有する病院数	○	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	299
S	GCU病床数(新生児回復室23床を含む)	○	47	0	0	0	0	0	0	0	0	47	4,090
	出生1万あたりのGCU病床数		96.9	-	-	-	-	-	-	-	-	44.6	53.1
S	MFICUを有する病院数	○	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	131

## 周産期医療

指標分類	指標名	重要指標：◎ 参考指標：○ その他：△	鹿児島 医療圏	南薩 医療圏	川薩 医療圏	出水 医療圏	始良・伊佐 医療圏	曾於 医療圏	肝属 医療圏	熊毛 医療圏	奄美 医療圏	県計	全国計
S	M F I C U病床数	○	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	867
	出生1万人当たりのM F I C U 病床数		12.4	-	-	-	-	-	-	-	-	5.7	11.2
S	ハイリスク分娩管理加算届出 医療機関数	○	5	0	0	0	0	0	1	0	1	7	750
S	N I C U入院児の退院支援を 専任で行う者が配置されてい る周産期母子医療センター数	○	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	200
S	災害時小児周産期リエゾン任 命者数	○	14	1	1	0	1	0	1	1	1	20	804
P	分娩数（助産所含む）	◎	6,239	353	703	510	1,563	0	1,152	149	544	11,213	773,347
P	周産期母子医療センターで取 り扱う分娩数	○	1,065	-	194	-	-	-	213	-	209	1,681	-
P	N I C U入室児数	○	1,365	-	-	-	-	-	-	-	-	1,365	72,530
P	N I C U・G C U長期入院児 数(半年以上入院)	◎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	307
P	妊産婦の居住する市町村の母 子保健事業について、妊産婦 に個別に情報提供を行っている 周産期母子医療センター数	○	3	0	1	0	0	0	1	0	1	6	323
P	母体新生児搬送数	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	817	37,559
	〃 県内搬送率	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	354.1
P	母体・新生児搬送数のうち受 入困難事例の件数	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	4,451
o	新生児死亡率(出生千人対)	◎	0.6	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	2.8	0.7	0.8
o	周産期死亡率（出産千人対）	◎	2.1	3.6	0.0	2.1	2.4	5.1	3.0	5.2	4.2	2.2	3.3
o	妊産婦死亡率（出産10万人対）	◎	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2
S	乳幼児・小児の在宅療養・療 育を行う医療機関数	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	85
S	N I C U長期入院児等が自宅 に退院する前に、家族が在宅 ケアを行うための手技習得や 環境の整備をする期間を設け るための病床を設置している 周産期母子医療センター数	○	2	0	1	0	0	0	1	0	1	5	273
P	退院支援を受けたN I C U・ G C U入院児数	○	539	-	-	-	-	-	-	-	-	539	15,809
P	N I C U・G C U長期入院児 数（再掲）	◎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	307